

ひろげる(伸張・伸長)～わくわく登校 納得の下校～

◎「重い!」「大きい!」4年生梨の収穫

10月2日(木)に総合的な学習の時間として4年生が徳山農園に行き、梨の収穫体験と梨の選別の様子を見学しました。毎年、収穫させていただいていた品種「新高」は、昨今の暑さの影響で収穫が難しく、今回は「甘太」という品種の収穫をさせていただきました。摘果や袋掛けを経験した子供たち、思い入れが強く意欲的に収穫し、成長した梨の重さや大きさに感動していました。収穫等をさせていただきました徳山様、大変貴重な体験をさせていただきましたありがとうございました。



完熟の梨「甘太」を収穫する子供たち

今後、安全運転を呼びかける『事故なしキャンペーン』活動に向けて、これまでの学びを振り返り4年生みんなで取り組んでいきます。楽しみです。(KKTのニュースにも出ました。)

◎育てたい資質・能力の変化を考える

今年度の育てたい資質・能力は、「聴き合う力」「自他を大切にし、自己肯定感を高める力」「自己管理能力」の3つです。

第2回(5月末)と第3回(10月初旬)のアンケート結果から、「よくできた」「まあまあできた」割合の合計の差から考察しました。

- ①「聴き合う力」:全ての項目で数値が増加しています。
- ②「自他を大切にし、自己肯定感を高める力」:生活面において5ポイント増加していることが分かり、学習面では2ポイント減少しています。
- ③「自己管理能力」:係、当番、委員会において増加しており、学習面、生活面は2～3ポイントの減少が見られています。

これらの結果から、①においては、聴く意識の日常化が図られています。②においては、学習面に減少が見られていますが、3年生以上の感想記述を読むと「前よりも多く振り返るようになった」「友達が教えてくれて算数が分かるようになった」「友達に聞いたり、教え合ったりできた」などの意見があり、力がついてきていると感じます。③においては、減少項目が多くなっていますが、記述から「今までは、朝、いきたくないなと思ったときもあったけど、今は自然と朝学校に行けるようになった」「挨拶は、自分が知らない人でも先に挨拶できた」などの感想から自分自身をよりシビアに客観的に振り返っているからこそ評価だと感じています。後期も、この3つの資質・能力を更に伸ばせるよう児童・職員・保護者・地域と協力していきたいと考えています。

清里小学校の子供たちが更に成長していけるよう、今後とも協力をよろしくお願いいたします。

★第2回(5月末)と第3回(10月初旬)の比較

	5月	10月	差
1聴き合う力(学習面)	85	89	4
2聴き合う力(係、当番、委員会)	88	95	7
3聴き合う力(生活面)	86	89	3
4自他大切、自己肯定感(学習面)	94	92	-2
5自他大切、自己肯定感(係、当番、委員会)	98	98	±0
6自他大切、自己肯定感(生活面)	91	96	5
7自己管理能力(学習面)	90	88	-2
8自己管理能力(係、当番、委員会)	89	92	3
9自己管理能力(生活面)	94	91	-3

5月、10月の数値は、「よくできた」「まあまあできた」の合計ポイント